

第1回神戸市外郭団体監理に関する検討委員会議事要旨

1. 日 時 : 平成26年1月22日(水) 10:10~11:10

2. 場 所 : 1号館14階 1141会議室

3. 要旨

- ・会議に先立ち、川野企画調整局長の挨拶が行われた。
- ・神戸市外郭団体監理に関する検討委員会開催要綱第4条に基づき、企画調整局長の指名により松尾貴巳委員が委員長に選任された。
- ・同要綱第5条に基づき、会議の公開が確認された。
- ・委員長より議事に入る旨の発言があり、事務局から会議資料の説明を行った。
- ・会議における委員の主な発言は以下のとおりであった。

(意見交換)

【対象団体について】

○団体へヒアリングを行う際に、現地を見ておいた方がよいところはあるか。他の自治体で指定管理に関する委員会に参画した際には、現地へ出向いてヒアリングを行った。施設はもとより、中で働いている人の様子がよく分かり、議論の質が高まってよかった。

○せっかく現地へ出向くのであれば、理事長や社長など実質的な経営責任者の方から直接ヒアリングさせていただきたい。経営責任者の方の団体に対する想いなどをお伺いしたい。

【ヒアリングについて】

○各団体が作成しているPDCAサイクルの資料を見せていただいたが、これだけでは、団体が取り組んでいることは分かるものの、それについて市がどのように考えているかがまったく分からない。また、それぞれの団体の存在意義については、市の考え方や方向性が分からなければ、我々も議論できない。そのあたりを修正いただきたい。

また、国や県など、神戸市の他に影響力のあるセクションがあればそれも教えてほしい。

○補助事業については、市の基本計画における位置づけや基本となる事務事業などを記載してもらえると必要性などの判断に活かすことができる。

○市として外郭団体に期待することは何かという項目があるが、市は外郭団体に期待していることが実際に実現されているか、どうやってモニタリングしているのか、あるいはまったくしていないのか、そのあたりを伺いたい。

○外郭団体の役員等について、どこから派遣されているのか、どの団体の意図が反映された人事になっているのかが分かるようにしていただきたい。役員等のポストに人が配置されていれば、出資率が低くても団体への影響力が大きいといえる。外郭団体へどう影響力を行使しているのか見えた方が分かりやすいのではないか。それによって市の責任も異なってくる。

<まとめ>

○今回事務局から提示された10団体をベースにヒアリングを進めていき、必要があればその都度、その他の団体にもヒアリングを行うということで進めていく。ヒアリングについては、必要に応じて現地へ出向いて実施する。